

▶ 保活セミナーの録画はこちら!

7月29日に実施した保活セミナーの録画が見られます。台東区に特化した保活についての基礎知識が知りたい保護者の方へ、ぜひどうぞ。



🍃 本目さよプロフィール



1982年3月10日生
党籍：無所属 会派：つなぐプロジェクト
資格：保育士 趣味：読書、おかしづくり 好きな物：くだもの

お茶の水女子大学大学院修了。IT系人事職として、社員が働きやすい会社づくりにつとめる。2011年より台東区議会議員。3期12年間、最年少かつ、唯一の未就学児を子育て中の女性議員として現実に即した提案を行う。女性議員の少なさへの課題意識から立ち上げた一般社団法人WOMAN SHIFTの代表理事。5歳、0歳の2児の母。ママの議員インターンを受け入れ中。

SNS

ご意見・お問い合わせ

発行：台東区議会議員 本目さよ 台東区谷中 3-24-8-203

「ほん」めの区議会報告ミニ本

Taito Report

学童クラブで活躍中。

vol. 52

本目 さよ

ジンジャー & さよ Sayo 谷中に住む猫と台東区議会議員の、いま気になる話。

🐱 どうとう、台東区の保育園の待機児童がゼロになったにゃ!

そうなの。うれしい…! ただ、ゼロだからといって油断は禁物。エリアによっては特に1歳クラスで入れないケースもあるので、調べておいて対策はしたほうがいいかなと思うよ。



保育園の種類もたくさんあるので、そういった基礎知識を解説するセミナーをオンラインでやっているよ!



🐱 裏面のQRコードから申込みにな。

そうそ。ただ、小学生のこどもクラブ(学童)のほうの待機児童が増えていて、小1の壁もそうだけど、小2以降の壁も…



🐱 学童つくるにゃ!

🍃 新しく学童(こどもクラブ)ができます。

こどもクラブの待機児童が過去10年間で最高の178名となってしまいました。6月には新しいこどもクラブが2つできたので、多少は改善されているものの特に2年生より上で待機児童が発生しています。

待機になってしまった場合、ベビーシッターの活用(小3まで使えます)児童館のランドセル来館や、放課後子ども教室などをつかって乗り切ってください。

新しくできるのは上野小学校、大正小学校、松葉小学校、金竜小学校の在籍児童が利用可能な位置にあること。原則として、松が谷2、3、4丁目の予定です。(令和6年4月OPEN予定)また、10月に蔵前3丁目にオープン予定です。



早生まれでも保育園に入りやすくするための補助金はじまります。

年度途中だとなかなか今まで保育園に入りづらかったのですが、待機児童がゼロになったことで、年度途中でも入りやすくなっています。

ただ、それは保育園の事業者にとっては死活問題。なぜならば保育園への補助金は、子どもの人数で決まるから。ある園では年間2,000万ほどの赤字が出ているという話も聞きました。このままでは保育園が潰れて、また待機児童が発生してしまいます。

そこで、台東区では特に年度の前半部分での空き定員に補助金を出すことで、年度途中でも0、1歳が保育園に入りやすくするようにしました！



特に早生まれの場合、年度末に向けて保育園に入りづらくなる。今回の補正予算は4月～9月までだが、10月以降も早生まれの子どものためにも枠を明けておくような体制も検討してほしいと、本日から要望しました。

福祉・子育て支援・DXについて聞きました。

つなぐプロジェクトというチームを代表して区長にざっくりと質問！



社会が変わって、困っている人が増えています。区は、困っている人の声を聞いて、必要な手伝いをすることが大事だと思っています。区は、高齢者や子ども、障がい者や女性など1人ひとりの状況に合わせたきめ細やかな福祉を旨とすべきです。そのために、先生や専門家の力を借りたり、民間と協力したりするべきです。区長はどう考えていますか？



福祉の問題はいろいろあるので、区はみんなの困りごとを早く見つけて、必要な手伝いをすることが大事だと思っています。そのために、地域で仲良く暮らせるようにする計画を作りました。この計画に沿って、区は他の団体と協力して、みんなが自分らしく安心して暮らせるように努力します。

記事をもっと読む



子育て支援



子どもや親のためにいろいろなサポートをすることが大事だと思っています。でも、コロナや物価のせいで、子育て世帯が区から出ていってしまいます。これは困ります。だから、子どもが楽しく遊べる場所や、保育士さんがしっかり子どもを見てくれることなど、子どものためのサービスを充実させたいと思います。そのためには、先生や専門家の力、デジタル化も必要です。区長は、この4年間で子育て支援に関することをどう考えているか教えてください。



子どもが元気に育つようにすることが大事だと思っています。そのため、妊娠から子育てまでの手伝いや、子育てしやすい環境や遊び場を作ることなど、いろいろなことを計画に沿ってやってきました。今年度は、子育て世帯の声を聞いて、国の方針も参考にして、次の計画を作り始めます。これからも、子育て世帯が住みやすいまちづくりを進めます。



デジタルを使って、区の仕事や住民のサービスをもっと良くすることが大事だと思っています。コロナの影響で、パソコンやインターネットを使うことが増えました。今回の予算にも、AIやBPRなどの新しい技術を使うことが入っています。これらは、区の仕事を効率的にするためのものです。でも、住民のサービスを良くするためにも、デジタルを使うことが必要です。例えば子育て世帯には、アプリやオンラインで申請や予約ができるようにすることが便利です。自治体DXをもっと進めたいと思いますが、区長はどう思いますか？



区は、パソコンやインターネットを使って、区民に便利なサービスを提供したり、区の仕事を効率的にしたりすることをDXと呼んでいます。区はこれまでもDXをやってきましたが、もっとやる必要があると思っています。そこで、パソコンで申請ができるようにしたり、AIやロボットなどの新しい技術を使ったりすることで、区民に良いサービスを提供したいと思っています。また、パソコンが苦手な人や職員に対しても、教えたり研修したりすることで、みんながパソコンを使えるようにしたいと思っています。区は、社会が変わってもICTの力で区民の生活を良くしていきたいと思っています。